

喜蔵塚古墳(藤岡市)

民家の入口に説明板と標柱が立っている



喜蔵塚古墳は白石古墳群の西端の古墳で円墳/7世紀代の築造

喜蔵塚古墳

所在地 藤岡市白石七五三

所有者 田村不二夫

本古墳は鮎川西岸の白石台地南端のなだらかな斜面に位置する七世紀代に造られた円墳である。通称「田村塚」と呼ばれている。

古墳の大きさは東西二〇メートル、南北二〇・七メートル、高さ六メートルである。

石室は南に開口する両袖型の横穴式で、奥に玄室、手前に羨道（ひらきだま）を設け、凝灰岩（れいはいがん）を切石積みした端正な構造を持っている。羨道は奥行き四メートル、幅一メートル、玄室は奥幅二・〇七メートル、高さ一・八メートル、奥行き二・五五メートルである。また、底面に凝灰岩の敷石が一部みられる。

藤岡市教育委員会

民家の庭先にある正面のマウンドが喜蔵塚古墳/住人の方の名から「田村塚」とも呼ばれるらしい



南面に横穴式石室が開口している



羨道から玄室を見たところ/両袖型の横穴式石室/端正な構造をもつ凝灰岩の切石積みが見て取れる/床面の一部には凝灰岩の敷石が見られる



正面は玄室の奥壁



玄室から羨道方向を見たところ



南西側から墳丘を見たところ



参考ホームページ

http://www.sukima.com/33_takasaki08/69kizouduka.html

<http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/fujioka/kizou.htm>

<http://obito1.web.fc2.com/fuziokanisi.html>

<http://ktmrj15.webcrow.jp/p10gm/tpx1411213kizozk.htm>

